

# 大麦特報 (第5号)

令和 4 年 5 月  
富山農林振興センター  
なのはな農業協同組合

本年の出穂期は、平年並みとなりました。刈取時期の目安を参考に成熟したほ場から計画的に収穫を行いましょう。

## 1. 刈り取り前の準備

### (1) カラスノエンドウ等の抜き取り

- ・カラスノエンドウの種子やハマダイコンの莢は粒厚が大きく、刈取時に混入すると、調製では取り除くことができません。
- ・刈取前にほ場を巡回し、ほ場内やその周辺でカラスノエンドウやハマダイコンがあれば速やかに抜き取り、適切に処分しましょう。

<カラスノエンドウ>



<ハマダイコン>



### (2) 被害粒(赤かび粒等)の混入防止

- ・異種穀粒の混入を防止するため、コンバインや乾燥調製施設の清掃を徹底しましょう。
- ・検査規格における赤かび粒等の混入限度は0.0%と厳しい基準となっています。
- ・湿害等で成熟不良となると病害の発生を助長するため、最後まで排水対策を徹底するとともに、収穫前にほ場を確認し、発生が確認された場合は別刈りとしましょう。

## 2. 適期刈取の実施

### 《刈取時期の目安》

出穂日	4 / 16
刈取適期	6 / 2頃

(5月27日調査結果より)

半分程度の穂が屈曲したら収穫



- ・穂軸と茎葉が完全に黄化し、子実水分30%以下になったほ場から適期に刈り取り、刈り遅れないように注意しましょう。
- ・早刈りは、粒の充実が不十分で空洞粒の原因となります。また、刈遅れは収穫ロスが多くなる上、熟色不良となるため、すべての穂首が屈曲する前に収穫を終えましょう。
- ・作業後に道路に泥が落ちた場合は、泥の撤去をお願いします。

### <安全なコンバイン作業のポイント>

- コンバインの詰まりを取り除くときは、必ずエンジンを停止する。
- 手こぎ作業時は、手こぎ位置や足場を安定させる。
- 巻き込まれにくい服装やヘルメットを着用する。
- 運転席からの死角が多いので、事前に路肩や畦畔の位置を確認し取り合う。



農作業中の  
事故に注意!!

：合図や確認を

百塚カントリーでの荷受けは、6月1日(水)より行います。

実需者から求められる品質を維持するため、異物混入防止を徹底しましょう